令和元年度　能登町立宇出津学校　中期 学力向上プラン

プラン名　Let’s enjoy listening &talking ＋Writing　「聴いて話す＋書く」（70％）

*12か条＋（プラス）*

*３条*

１　授業づくり

⑴　現状・課題（Ｒ）

|  |  |
| --- | --- |
| 課題 | 現状（科学的データ） |
| *自分の考えを式や図、数直線、言葉などを用いて分かりやすく伝える力が十分でない。* | ・算数チャレンジ問題（学力調査問題正答率が最も低い記述問題）　　　　　　　 全校平均正答 （70.7%）  （H31 6年算数　１(３)正答率10％→69.2%　4年算数　８(２)正答率4％→73.1%）  ・Let’s enjoy授業評価シート「児童に話す視点を与え、関わり合わせる場の設定」 A＋B (100％)  ・宇出津っ子学びのアンケート「自分の考えがうまく伝わるよう工夫することができたか」　　A＋B（80.8%）  [要因]  〇関わり合いながら学ぶ有用感を味わう児童の割合が向上している。  △教科用語、式、図、数直線などを用いて自分の考えを適切に表現することが不十分である。  △ノートで書き表したことを十分に用いて、相手に伝えることが不十分である。 |

⑵　計画と実行（Ｐ・Ｄ）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 中期目標 | 具体的取組 | |
| *友達の意見や複数の情報・条件を関連付け，根拠をもち自分の考えを伝えることができる。* | ・関連付けながら、自分の考えを伝えている児童を評価し、全体に広げる。  ・式や図、数直線、言葉などを用いて、自分の考えをノートなどに書くとともに、それを使って相手に伝えている児童を評価し、全体に広げる。  ・自力解決・集団解決の場で、根拠となる式や図、数直線、言葉を記述させる。  ・曖昧な表現を必ず問い返し、明確な表現にした教科用語や数値、短文などを、黄色チョークで板書し、ノート記述で共有化する。 | |
| 評価項目 | | 評価（結果） |
| ・Let’s enjoy授業評価Ver3シート「ノートを用いて関わり合わせる場の設定」　A＋B 　(100％)  ・2学期ノート検定　　　　　　　　「低中高学年がめざすノート」合格率　　　　（80％）  ・算数チャレンジ問題　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（75％）  ・宇出津っ子学びの力アンケート  「自分の考えが相手に分かりやすく伝わるノートをつくることができたか」A＋B（80％） | |  |

⑶　検証と改善策（Ｃ・Ａ）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 評価項目（誰が，いつ） | 結果 | 改善策 |
| ９ | □授業創りシートVer3（学担・級外，4週）  □授業評価シートVer3（総括，4週） |  |  |
| 10 | □授業創りシート（学担・級外，4週）  □授業評価シート　　　（総括，4週）□宇出津っ子学びの力アンケート  　　　　　　　　　　　（集計，2週） |  |  |
| 11 | □授業創りシートVer4（学担・級外，4週）□算数チャレンジ問題　　　　（4週）  □授業評価シートVer4　（総括，4週） |  |  |
| 12 | □授業創りシートVer4（学担・級外，2週）  □宇出津っ子学びの力アンケート　　（１週） |  |  |

２　基盤づくり

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 中期目標 | 具体的取組 | 評価 |
| 自分の考えを分かりやすく伝えるためのノートづくりができる力を身に付けることができる。 | ・相手に分かりやすく伝えるためのノートを全校児童で共有する学習集会を最上級生が企画立案し、開催する。  　→異学年集団の縦割り班で全学年の算数ノートを交流するとともに５・6年生が１～４年生のノートについて助言する。  ・授業創りシートVer3を活用して，児童に自分の考えを伝えるノート作成力が定着しているかを評価する。（毎週金曜日） |  |